



## 答え合わせ・解説

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 問1  | <b>答え 1</b><br>顔色                         | 「顔色をうかがう」の「顔色」の部分が入ります。意味は「相手の機嫌や様子を気にして、自分の言動を決める」です。                             |
| 問2  | <b>答え 3</b><br>彼は何も言わないが、相手の腹を探るような目つきだ。  | 「腹を探る」の正しい使い方は「彼は何も言わないが、相手の腹を探るような目つきだ。」です。意味は「相手の考えや本心を知ろうとする」です。                |
| 問3  | <b>答え 2</b><br>一か八か、この難しい試験に全力をかけて挑戦してみる。 | 「一か八か」の正しい使い方は「一か八か、この難しい試験に全力をかけて挑戦してみる。」です。意味は「結果がどうなるか分からないが、運を天に任せてやってみること」です。 |
| 問4  | <b>答え 1</b><br>相手に対して申し訳なく思い、自信がなくなる      | 「気が引ける」は「相手に対して申し訳なく思い、自信がなくなる」という意味です。  |
| 問5  | <b>答え 3</b><br>心                          | 「心を鬼にする」の「心」の部分が入ります。意味は「相手のために思って、あえて厳しく接する」です。                                   |
| 問6  | <b>答え 3</b><br>卒業後も恩師に手紙を出し、顔をつないでいる。     | 「顔をつなぐ」の正しい使い方は「卒業後も恩師に手紙を出し、顔をつないでいる。」です。意味は「知人との関係を保つために、時々会ったり連絡をとったりする」です。     |
| 問7  | <b>答え 1</b><br>気                          | 「気に留める」の「気」の部分が入ります。意味は「注意を払って、心にとどめておく」です。  |
| 問8  | <b>答え 1</b><br>はっきりと言わず、あいまいにごまかす         | 「口を濁す」は「はっきりと言わず、あいまいにごまかす」という意味です。  |
| 問9  | <b>答え 1</b><br>水                          | 「水を向ける」の「水」の部分が入ります。意味は「相手が話し出すように、それとなく誘いかけること」です。                                |
| 問10 | <b>答え 2</b><br>駅前の商店街は、最近客足が遠のき閑古鳥が鳴いている。 | 「閑古鳥が鳴く」の正しい使い方は「駅前の商店街は、最近客足が遠のき閑古鳥が鳴いている。」です。意味は「客が来ず、商売がひっそりとしていて寂しい様子だ」です。     |
| 問11 | <b>答え 1</b><br>緊張をゆるめて油断する                | 「気を抜く」は「緊張をゆるめて油断する」という意味です。   |
| 問12 | <b>答え 4</b><br>互いに激しく争う                   | 「鎗を削る」は「互いに激しく争う」という意味です。  |
| 問13 | <b>答え 4</b><br>友人の小さな失敗に、今回は目をつぶることにした。   | 「目をつぶる」の正しい使い方は「友人の小さな失敗に、今回は目をつぶることにした。」です。意味は「相手の過ちや欠点を見ても、気づかないふりをして許す」です。      |
| 問14 | <b>答え 1</b><br>よく知らない話に首をつっこむのは控えよう。      | 「首をつっこむ」の正しい使い方は「よく知らない話に首をつっこむのは控えよう。」です。意味は「ある物事に関係を持ったり、関与したりする」です。             |
| 問15 | <b>答え 2</b><br>鯖                          | 「鯖を読む」の「鯖」の部分が入ります。意味は「自分に都合がいいように、数を適にごまかす」です。                                    |
| 問16 | <b>答え 3</b><br>部長は新人である彼を特別に目をかける。        | 「目をかける」の正しい使い方は「部長は新人である彼を特別に目をかける。」です。意味は「気にかけてかわいがり、世話をすること」です。                  |
| 問17 | <b>答え 1</b><br>その美しい音楽は、私の琴線に触れた。         | 「琴線に触れる」の正しい使い方は「その美しい音楽は、私の琴線に触れた。」です。意味は「良いものや感動的なものに触れて心が動かされる」です。              |